

JVEC *Monthly* NEWS

ジャパンベジタブルコミュニティ …マンスリーニュース …

vol.44

2020年1月号



東京砂漠を緑の東京へ・私の初夢

新年おめでとうございます。今年はJVECにとって大きな意味のある年になると思います。

さて、昨年アフガニスタンで農業の支援をされていた中村哲さんが、志半ばで凶弾に倒れたという悲しい出来事がありました。中村哲さんはアフガニスタンで荒地に水を引き、緑の野に変えていきました。医師でもある中村さんが、トラクターを運転して護岸工事をしている様子がテレビで紹介されました。中村さんの思い、言葉が一つ一つ胸に迫ってきます。そして改めて自分は何のために屋上菜園・果樹園・緑化の仕事をしているのか、原点に還るよう促されました。

昔の歌に「東京砂漠」というのがあります。1964年、前川清と内山田洋とクールファイブのヒット曲です。「空が哭いている 煙け汚れて」で始まり、「ビルの谷間の川は流れない 人の波だけが黒く流れしていく」当時は高度成長期で東京の空は工場から出る排気ガスで汚っていました。歌の主人公の女性は「あなたに巡り逢うまでは そうよ この都会(まち)を逃げていきたかった」と言います。空気のきれいな地方から働くために東京に出てきた若い女性なのでしょう。女性は愛する男性に出逢い「あなたがいれば あなたがいれば陽はまた昇る この東京砂漠」…あれから55年。東京も大きく変わりました。大小の建物で埋め尽くされたビル砂漠・東京。無縁社会になりつつあります。孤独、ストレスが砂漠の砂のように吹きすぎであります。緑の野が必要です。都会の緑の屋上は身体とこころの「オアシス」になります。新しいコミュニティです。2030年、東京都心の上空を飛ぶ飛行機から地上を見ると、緑の野が広がっている。「緑があれば 陽はまた昇る 菜園があれば 元気になれる 笑顔が溢れる」。私の初夢です。



代表理事 阿部 義通

▶▶▶▶ JVEC プロジェクトの動き

1. 「第二の故郷づくり」プロジェクト

「第二の故郷づくり」のプロジェクトがいよいよスタートします。当面の予定は推進チームを固めること、戦略策定とビジネスモデルづくり、実行プランの具体化です。一番大事な段階です。初年度は3ヶ所で実験をし、その検証結果を踏まえて、モデル化していく予定です。地方と都市で新しいコミュニティづくり、関係人口づくりが大きな目標です。

2. 「神田の森」プロジェクト “トルコ産オリーブの木”

東京オリーブプロジェクトからオリーブの苗をいただきました。トルコ産の原種ゲムリックオリーブは乾燥や高温にも強く、鉢植えでビルの屋上や、舗装道路でも元気です。屋上で栽培管理して、オフィスの中や商店街でも活躍してくれそうです。今年の春から夏に、オフィスで環境浄化のテスト利用を始める予定です。



3. えごま日記

地味な作業ですが、これはえごまを脱穀して唐箕がけ(風選別)をしてゴミやガラを飛ばしたのち、日干しをしているところです。「虫おい」といって、なかにいる虫を太陽熱で追い出すことと、13%ほどある水分を7%以下まで乾燥させます。この作業は重要で、これをすることで、カビを防止し、新鮮なえごまを保管できます。



4. 老人ホームに特化した楽しい屋上菜園・提案づくり

2020年は老人ホーム向けに屋上菜園を普及していきます。現在2ヶ所の老人ホームで栽培活動をしていますが、皆さんのが楽しんでしている様子をみると、こちらまでうれしくなります。さらに老人ホームの皆さんに喜んでいただくためにはどのようにしたら良いのか。現在老人ホームに適した屋上菜園での野菜栽培方法とそれに伴う楽しいプログラムづくりを進めています。1月末を目途に提案書をまとめる予定です。
(阿部)

□三井住友海上火災 栽培指導(24区画) 毎週土曜日
11日・18日・25日 指導 午前10時~12時
阿部・庭野
場所／三井住友海上火災ビル屋上(千代田区神田駿河台3-9)

□台東区老人ホーム 栽培管理作業(2区画)
および講習/ワークショップ
9日・23日 午後2時~4時 隔週木曜日
阿部・庭野・丸原 場所／フレスコ浅草(台東区浅草)

□北千住ルミネ屋上菜園作業(13区画) 每週水曜日
8日・15日・22日・29日作業 午前10時~12時
阿部・丹羽・庭野・藤掛・丸原・森川・渡辺
場所／北千住ルミネ(足立区千住旭町)

□墨田区老人ホーム 栽培管理作業(6区画)および懇談会
8日・22日 午前9時30分~11時30分 隔週水曜日
阿部・丹羽・古庄 場所／こまち墨田館(墨田区押上)

12月の活動報告

◇三井住友海上火災(株)駿河台菜園部会◇ 栽培指導の課題

三井住友海上火災さんの屋上菜園では、21区画の利用者が菜園作業をしています。JVECの庭野さんが毎週、阿部が月2回、土曜日午前10時~12時に2時間出動し皆さんへの栽培指導をしていますが、限られた時間のため全員の方への栽培指導ができないという問題があります。また、その時間帯に都合がつかず来ることができない利用者も少なくありません。来年はこの問題解決に取り組んでいきたいと思います。

(阿部・庭野)

◇墨田区老人ホーム部会 こまち墨田館◇ 年間予定・栽培とお楽しみプログラム

来年は年間計画を立てて栽培作業そしてスプラウト栽培なども含め、多様なプログラムを準備して屋上菜園活動を一層楽しく、有意義なものにしていきたいと思います。現在その準備に入っています。来年は施設の職員の皆さん、入居者の皆さんから希望が出ている果樹栽培にも取り組んでいく予定です。まずはブドウとキンカンから。

(庭野・阿部)

◇台東区老人ホーム部会 フレスコ浅草◇ 屋上菜園の増設

フレスコ浅草の佐藤施設長から、屋上菜園を当老人ホームの特長の一つにしたい、との有難いお話を頂きました。もっと多くの入居者の皆さんに屋上菜園を楽しんで頂くために現在の屋上菜園を拡張するための提案をこれから準備します。屋上菜園の増設が3月までにできれば夏野菜の栽培に間に合います。

(阿部・庭野)

◇北千住ルミネ屋上菜園部会◇ ダイコン収穫と来春の準備

北千住ルミネの屋上ではまず12月4日に、保育園の子どもたちとダイコンの収穫を行いました。この秋の台風を力強く耐え抜いたダイコンは太さも形も申し分なく、全部で30本以上収穫することができました。また、今年もスナップエンドウの栽培が始まっています。12月の2週目には防風のためとして、割り箸を根元近くの土に刺し小さな支柱としました。まだ小さな苗ですが、元気に成長を始めています。そして、野菜の栽培以外にもブドウの栽培木枠の増設をしました。今回は増設なので木枠用の木材を「コ」の字型に組立て、元の木枠の一辺を取り外して隣接させ設置しました。木材を扱う作業は日曜大工のようで、普段の栽培作業の中ではなかなか体験できない新鮮なものとなりました。

(藤掛)



スナップエンドウの苗

ブドウ用木枠の増設

～北千住屋上菜園の四季～

この記事を毎月書いてくださっている藤掛さんによる今年の春、一つのお願いをしました。それは北千住屋上菜園の四季のアルバムをつくるということでした。12月11日に写真アルバムを藤掛さんから頂きました。これから写真毎に一言添えてアルバムを完成させていきます。アルバムは2冊作成し、1冊はルミネ北千住店に、もう1冊はJVECで保管します。

(阿部)